

日本語文化学院技能訓練協会

LPK

BAKTI KENCANA JAYA MULYA

施設概要案内



Jl. Raya Desa Kalapagunung No. 133
Rukun Tetangga. 11 Rukun Warga. 02 Kecamatan Kramatmulya
Kabupaten Kuningan Provinsi Jawa Barat
Indonesia 45553
Tlp. +62 232 8881058 Fax. +62 232 8881058
E-mail : lpk_bkj@yahoo.com

LPK BAKTI KENCANA JAYA MULYA 技能訓練協会

目次

A.	はじめに	3
B.	訓練の内容	3
C.	目的	3
D.	技能訓練協会の住所	3
1.	技能訓練協会の所在地	4
2.	周辺環境	6
3.	周辺人口	6
4.	施設概要	7
5.	教育・指導スタッフ	13
6.	技能実習生候補者審査の流れ	14
7.	(財) 国際研修協力機構(JITCO)計画の技能実習生配属の流れ	18
8.	LPK BKJ 訓練協会の組織構成図	19
9.	LPK BKJ 訓練協会の教育・指導訓練スケジュール	20

LPK BAKTI KENCANA JAYA MULYA 技能訓練協会

A. はじめに

当日本語文化学院 技能訓練協会（LPK BAKTI KENCANA JAYA MULYA 通称：BKJ）は 2007 年に設立され、以後多くの若者を教育訓練し、日本へ送り出してきました。2013 年にインドネシア国法律省に合法的にしました。規則番号：AHU-1035.AH.01.04 TAHUN 2013.

年々高まる日本の受入れ組合及び受入れ企業様の日本語能力及び基礎体力並びに基礎教養向上の要望に応えるべく、当訓練協会は日々努力して参りました。

当訓練協会に入所を希望する若者も地元（西ジャワ州）は元より、中部ジャワ州及び東ジャワ州に及び、ほぼジャワ島各地から希望者を受け入れております。

B. 訓練の内容

LPK BAKTI KENCANA JAYA MULYA での訓練内容は日本語、日本の文化と体力鍛錬 {心と体を練り鍛えること} であります。

C. 目的

- A. 政府の労働政策の一つである労働力の質的な向上を目指せと言うプログラムに協力する。
- B. 仕事上での必要に備え、高校、専門学校の若者に日本語を教える。
- C. 当技能訓練協会卒業生に情報を与え、就職のチャンスを与える。
- D. 技能訓練機関として社会にあらゆる貢献をする。

D. 技能訓練協会の住所

技能実習生候補者の訓練、教育を行う当機関の所在地

西ジャワ州クニンガン郡クラパグヌン通り 11-2 コードポスト：45553

（JL. RAYA DESA KALAPAGUNUNG RUKUN TETANGGA 11 RUKUN WARGA 02 KECAMATAN KRAMATMULYA KABUPATEN KUNINGAN PROVINSI JAWA BARAT KODE POS 45553）

LPK BAKTI KENCANA JAYA MULYA 技能訓練協会

1. 技能訓練協会の所在地

当技能訓練協会はインドネシア共和国ジャワ島の西ジャワ州東部に位置し、首都ジャカルタからは東へ列車で約 3 時間、世界遺産として観光地で有名なジョグジャカルタまでは更に東へ列車で約 7 時間という、西の首都と東の古都を結ぶ港湾都市チルボン市 (CIREBON) を近郊都市として、チレボン市からは南西へ車で約 1 時間のクニンガン郡(KUNINGAN)にあります。



チルボン駅

(首都ジャカルタから特急列車で約 3 時間)



チレマイ山（山頂標高：3,078m）

（クニンガン郡はこの山の麓に位置する。）



クニンガンの市街

2. 周辺環境

当訓練協会のあるクニンガン郡は地元では有名なチルマイ山（山頂標高：3,078m）の麓、標高 450m の高地に位置し、気候も年間を通じて比較的穏やかで、平均気温も 28℃前後と過ごし易く、古くから避暑地として知られております。

また、地元州政府の政策として 2020 頃年までに新たな空港をクニンガン郡近郊の山間部に建設し、観光産業誘致の拠点計画としても注目されております。

周辺は高級リゾートホテルが数多く存在し、知る人ぞ知る観光名所にもなっております。



地元高級リゾートホテル・グラゲサンカ

3. 周辺人口

当訓練協会の所在するクニンガン郡の人口は、約 10 万人程で近郊都市のチレボン市（人口：30 万人以上）を始めインドラマユ市（人口：50 万人以上）、バンドゥン市（人口：300 万人以上）等と古くから商業の都市として栄えて来ました。近年では地元産業も活発に発展し、各分野の生産拠点として現在も発展し続けております。

日本人が経営する現地農産物食品の加工工場もあり、日本人居住者も少なくありません。

当訓練協会は地元を始めこれらの都市から多くの優秀な若者を選抜し、技能実習生事業参画に必要な教育・訓練を完全寄宿制で厳しい管理のもと実施しております。

LPK BAKTI KENCANA JAYA MULYA 技能訓練協会

また、地元政府関係機関の事業認可・協力支援に依って完全な正規運用を営んでおります。

現在までに当訓練協会より日本企業へ送出した若者は 100 人を超え、そのうち約 50 名は既に帰国し、地元または各出身都市の発展に寄与しております。

4. 施設概要



1) 施設収容人員（寄宿数：30名）・・・・・・・・・・30名

LPK BAKTI KENCANA JAYA MULYA 技能訓練協会

必要に応じて施設近隣の宿泊施設を寄宿舍用に手配可能（最大約 50 名）。現在、LPK BAKTI KENCANA JAYA MULYA 技能訓練協会に 300 生徒がいます。

2) 教育施設

最大 30 名までの学習機材（机、椅子等）装備

必要に応じて施設近隣の他施設を適宜学習施設用に手配可能（最大約 50 名）



教室 1



教室 2



教室 3



教室 4



授業風景 1



授業風景 2

LPK BAKTI KENCANA JAYA MULYA 技能訓練協会



授業風景 3



生徒の活動

3) 福利厚生施設（設備）

3)-1 サニタリー設備（シャワー・トイレット）



3)-2 食堂設備



食事は自炊を基本とし、台所・必要器材を提供している

休憩時間に自由に使用可能

4) 事務所施設（事務室兼応接室）





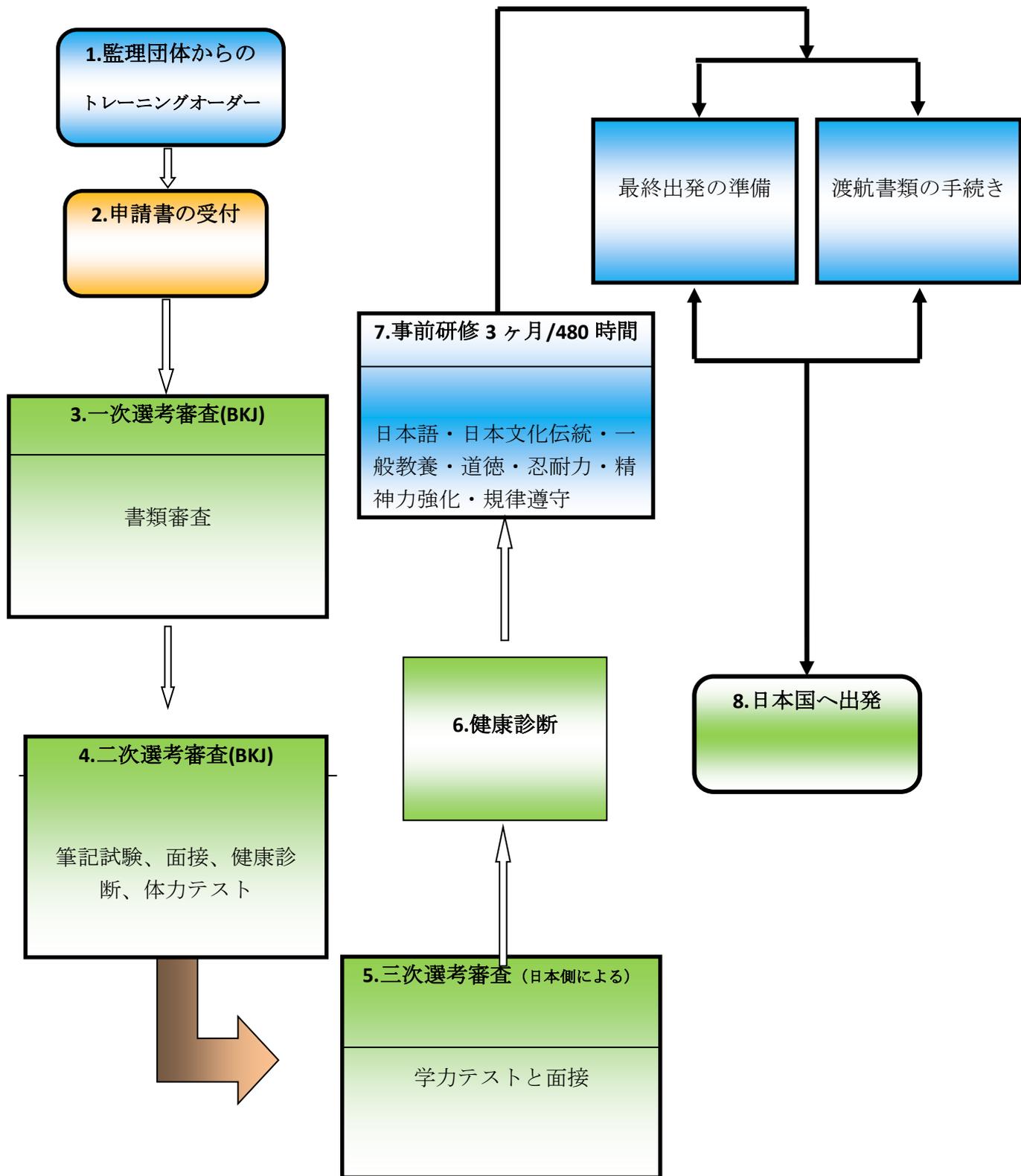
応接室

5. 教育・指導スタッフ

当機関にご協力戴いている教育・指導関係スタッフは次の方々です。

- 1) 日本語教育と日本文化担当者・・・・・・・・・・・・・・ (計：4名)
 - ・ 地元大学現役日本語講師・・・・・・・・・・・・・・ 1名
 - ・ 日本語通訳職（日本語能力検定N2取得者）・・・・・・・・ 1名
 - ・ 日本人講師・・・・・・・・・・・・・・ 1名
 - ・ 当機関オーナー・・・・・・・・・・・・・・ 1名
- 2) 基礎体力・精神力・規律指導担当者・・・・・・・・・・・・ (計：3名)
 - ・ 地元警察関係者・・・・・・・・・・・・・・ 2名
 - ・ 地元軍隊関係者・・・・・・・・・・・・・・ 1名
- 3) 健康管理・安全・道徳指導担当者・・・・・・・・・・・・ (計：2名)
 - ・ 地元優良企業経営者・・・・・・・・・・・・・・ 1名
 - ・ 地元政府関係機関担当者・・・・・・・・・・・・・・ 1名

6. 技能実習生候補者審査の流れ



6-1. 日本国監理団体からのトレーニングオーダー

6-2. 技能実習生候補者の募集、申請書の受付

LPK BAKTI KENCANA JAYA MULYA 技能訓練協会

- 6-3. 第一次選考審査：書類審査（当機関による）
審査書類：卒業証書、IDカード、身体検査
- 6-4. 第二次選考審査：（当機関による）
審査項目：学力テスト、体力テスト、面接試験
- 6-5. 第三次選考審査：（日本側受入れ機関による）
審査項目：学力テスト、面接試験
- 6-6. 健康診断：（当機関による）
診断項目：視力検査、血液検査、尿検査、肺検査、エイズ検査、レントゲン検査、血圧検査、疫病検査（チフス・コレラ菌）、全身皮膚検査等
- 6-7. 事前研修：（当機関による）
研修機関は3ヶ月前後の480時間以上実施





基礎体力トレーニング

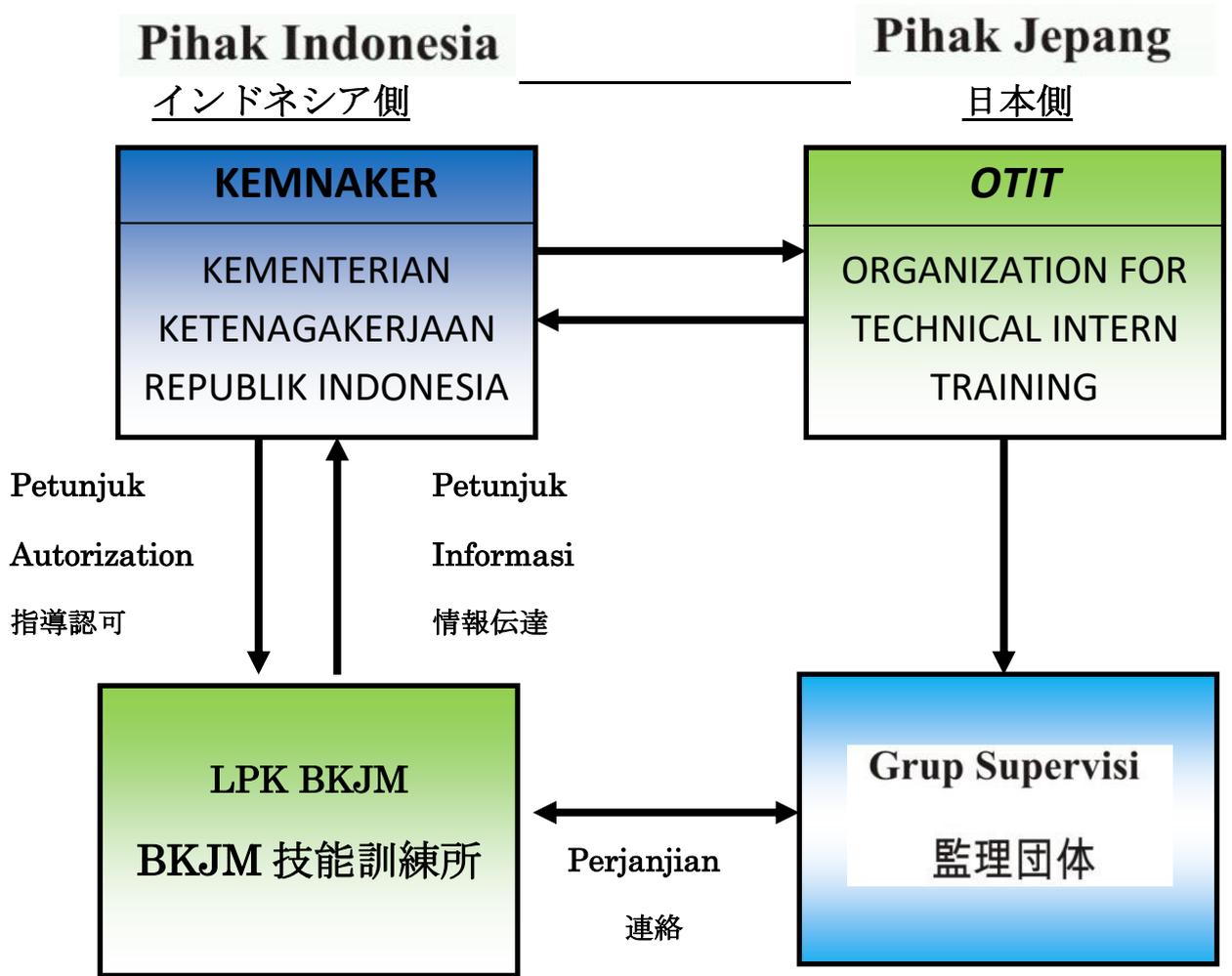


地元大学現役日本語講師による授業



日本語学習風景

7. (財) 国際研修協力機構(JOTIT) 計画の技能実習生配属の流れ



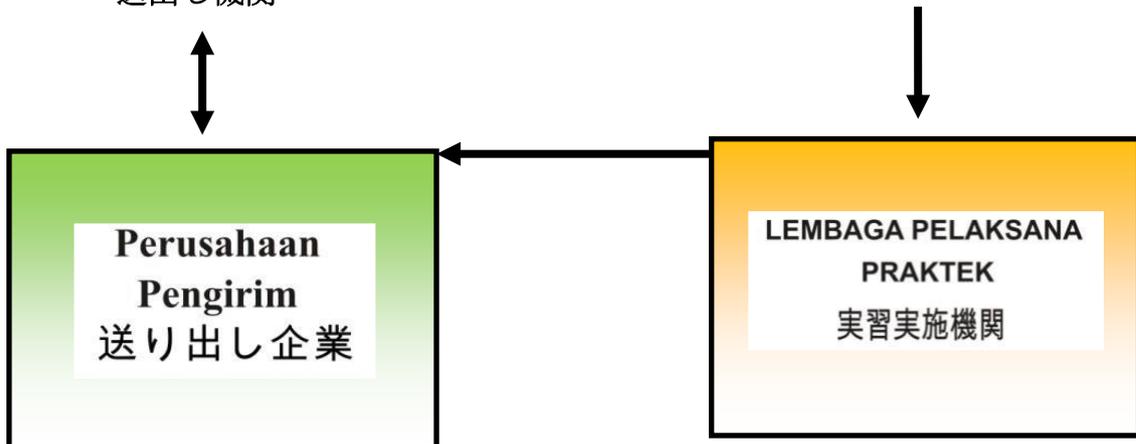
訓練協会の組織は創業者顧問、管理職から構成されている。

Organisasi Pengirim

送出し機関

Asosiasi

組合・協会・商工会・商工会議所



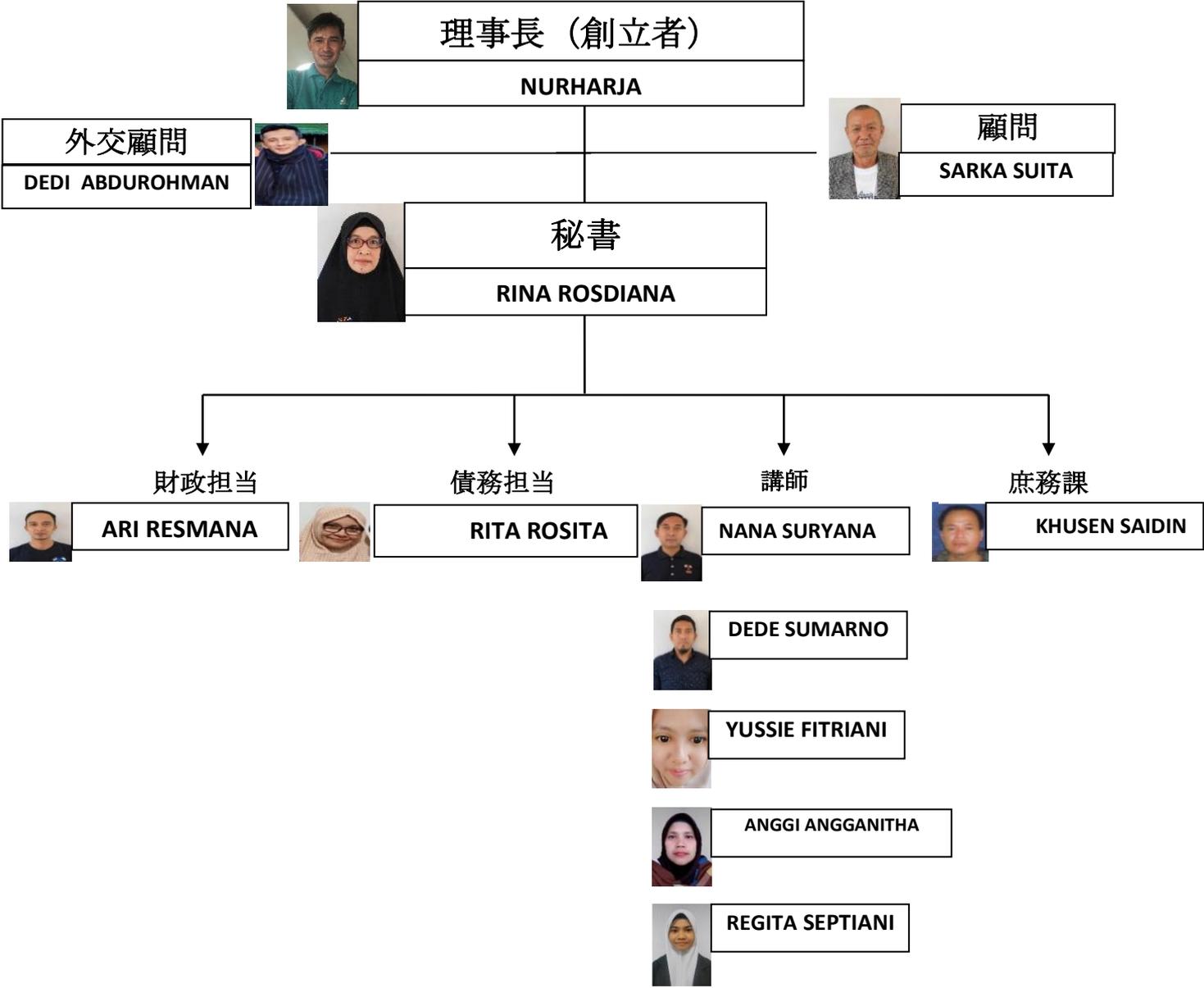
Perusahaan

企業

LPK BAKTI KENCANA JAYA MULYA 技能訓練協会

8. LPK BKJM 訓練協会の組織構成図

LPK BAKTI KENCANA JAYA MULYA 技能訓練協会の組織図



9. LPK BKJM 訓練協会の教育・指導訓練スケジュール

当訓練協会は、(財)国際研修協力機構（OTIT）の教育・指導カリキュラムに則り、効果的な日本語能力習得のため集中的な教育・指導を行うため、完全寄宿制を導入し、1日の学習時間は最低8時間以上、1ヶ月の学習時間は160時間以上とし、3ヶ月後は延べ480時間以上の学習を計画実施しております。

9-1. 早朝、5時起床5時30分～7時まで基礎体力強化のための体カトレーニングを屋外専用施設で専門指導員のもと実施し、午前8時～12時までは専門日本語講師のもと50分間授業10間休憩で午前中は4時間日本語学習、午後12時～1時までは昼食休憩、午後1時～5時まで同じく50分間授業10間休憩を実施しております。

9-2. 午後5時以降は原則自由時間ですが、復習・予習のため各自自習時間としており、午後9時消灯時間（厳守）と定めております。

当初より、日本国での共同生活に馴染むよう、炊事・施設の清掃は各自分担し当番制により実施するよう、指導しております。

9-3. 日本語指導の教材はOTITより提供される語学教材をフルに活用し、文法は基より日本語会話能力を高める指導を重点にしております。

9-4. 3ヶ月間の教育・指導スケジュールは初めの1ヶ月間は基礎日本語指導を重点とし、毎週1回の実力テストを実施し、技能実習生候補者の基礎語学力習得にバラつきがない様、個人の習得レベルを把握して必要に応じて適宜個別の指導を実施しております。

9-5. OTITの日本語指導チェックシートも活用し、向こう3ヶ月間に至るまでの各自日本語習得レベルを記録し、2ヶ月目からは応用語学力習得のための日常会話練習、及び日本での日常生活に支障が出ない様、外出時の道の尋ね方、緊急時の救助の求め方等、日本人社会で必要な会話レベルの習得を目的として指導実施しております。

9-6. 3ヶ月目からは、日本での受入れ企業における業務上必要な専門用語、設備、機器、工具、治具等の名称及び使用の仕方等、実践的な文章・固有名詞理解力向上に重点を置き、日本入国後業務日常生活に支障を来さない様、指導を心掛けております。

9-7. 教育・指導期間終了前には、疾走・逃亡防止及び日本人社会での一般常識、法律、生活区域の地域住民に迷惑を掛けない様、ゴミの分別の意味及びその仕方、排出日等のルールを遵守する指導をしております。

LPK BAKTI KENCANA JAYA MULYA 技能訓練協会

9-8. 1日の教育・指導スケジュール表

時間	教育・指導項目	担当指導員	備考
5:00	起床		
5:30～7:00	基礎体力トレーニング	専門指導員	
7:00～8:00	朝食・休憩時間		
8:00～8:50	日本語教育・指導	専門講師	
8:50～9:00	休憩時間		
9:00～9:50	日本語教育・指導	専門講師	
9:50～10:00	休憩時間		
10:00～10:50	日本語教育・指導	専門講師	
10:50～11:00	休憩時間		
11:00～11:50	日本語教育・指導	専門講師	
11:50～13:00	昼食休憩時間		
13:00～13:50	日本語教育・指導	専門講師	
13:50～14:00	休憩時間		
14:00～14:50	日本語教育・指導	専門講師	
14:50～15:00	休憩時間		
15:00～15:50	日本語教育・指導	専門講師	
15:50～16:00	休憩時間		
16:00～16:50	日本語教育・指導	専門講師	
16:50～19:00	休憩自由時間・夕食		
19:00～21:00	自習時間	各自	常駐職員による指導

- 注記、
- (1) 上記、教育・指導スケジュールは毎週月曜日から金曜日のもので、土曜日・日曜日及び祝日は原則休日としております。
 - (2) 但し、土曜日はスポーツ奨励日としてフットサル・バドミントン・テニス等の全員参加によるレクレーションとしております。
 - (3) 休日、祝日に関わらず、許可なくして自宅に帰宅若しくは帰省することは原則出来ないこととしております。